

広島市内において

| | |
|--------|---|
| 開催日時 | 2025年6月1日（日） 午後3時～5時 |
| 集合場所 | 広島平和記念資料館（原爆資料館）、東館1階の入り口の外側。 (森が法衣でお待ちしています) |
| 行程 | 午後3時から平和大通りをゆっくり歩き、被爆動員学徒慰靈慈母觀音像をはじめ、各所で祈ります。 午後4時10分ごろ、広島県被団協（広島平和会館：大手町3丁目）に到着し、日本被団協代表理事：田中聰司様のお話を拝聴いたします（午後5時頃解散）。 |
| 対象・申込み | どなたでも参加いただけます。 ただし安全のため、少人数での巡礼としますので、参加いただける方は事前に森（TEL 090-6979-2661 または e-mail cqw07746@nifty.ne.jp ）までご連絡ください。参加費は無料です。 (資料館は午前から開館しており、夕方は5時半迄に入館すれば見学可です。 参考情報として、見学は事前のネット予約をお勧めいたします。ここ数年、見学者が多く受付の混雑があり、長時間ならぶことがありますので) |

【平和大通りについては下記を参照ください】

道路の幅が100メートル、東西4キロにわたり貫く平和大通り（通称「100メートル道路」）は、被爆からのヒロシマの歴史を刻んでいます。
大通りの原形は1945年にさかのぼります。政府の命令で空襲に備え幅100メートルの防火地帯を設けようと、当時の中学校、職場、町内会から人々が動員され、東は鶴見橋から西は小網町一帯で家屋を取り壊していました。原爆は8月6日、その頭上でさく裂しました。建物疎開作業中の動員学徒だけで約6,300人が犠牲になったと言われています。

参考地図



資料館(東館)

平和大通り